

高梁市情報化計画(中間報告)の概要



市は、「高梁市情報化計画」策定に向けて取り組んでいます。その中間報告がまとまりましたので、ご紹介します。

現在、市から市民の皆さんへの情報伝達手段は、広報紙などの配布やホームページの公開のほか、防災行政無線、オフトーク通信、ケーブルテレビなど、合併前に各自自治体が整備したものとなっています。また、高速インターネットや2011年から本格的に移行される地上デジタル放送への対応も地域によって異なっています。

情報化計画は、こうした情報通信の格差を是正し、一体性のある情報発信や緊急通報が可能となるよう、整備計画をまとめるもので、今後、市民の皆さんのご意見、ご要望などを参考にして策定していくこととしています。

◆計画の基本理念

市総合計画の目指すべき都市像「交流・創造都市たかはし」のもと、情報通信技術を活用して目指す情報化計画の基本理念を「ICT(※)でめざす活力と魅力のある心豊かなまち高梁」とします。

◆現状と課題

公共ネットワークの整備状況

市役所と各出先機関を結ぶ公共ネットワークの情報通信基盤の整備状況は表①のとおり、地域イントラ(※)、防災行政無線(※)、オフトーク通信(※)、告知放送(※)などの

多様なシステムが地域ごとに構築されています。これを一元化して、効率的・効果的な情報を提供可能とする仕組みの検討が必要です。

なお、防災行政無線は、有漢、成羽、川上、備中地域で、昭和59年度から平成11年度の間に導入されましたが、年数を経過した設備では部品等が製造中止と

表① 情報通信基盤の整備状況

(H19.3.31 企画課情報係調べ)

	高梁地域	有漢地域	成羽地域	川上地域	備中地域
地域イントラ (公共ネットワーク)	○	○	○	○	○
	ケーブルテレビ網活用			自設+ISDN [※]	
防災行政無線		○	△ (車載用のみ)	○	○
オフトーク通信	○				
告知放送			○		

○：整備済 △：戸別受信は告知放送で運用

※ISDN (Integrated Services Digital Network)

電話やFAX、データ通信を統合して扱うデジタル通信網

なり、故障時の修繕（部品等の調達）が困難な状況にあります。
高速インターネットの利用可能地域
通信事業者や地域のケーブル

テレビ[※]事業者から通信サービスの提供を受け、高速インターネット環境が整備されている地域ごとの世帯状況は表②のとおりです。
高梁・有漢地域は、ケーブルインターネットによって高速インターネット環境が全世帯に整備されています。
成羽地域は、ケーブルインターネットはありますが、高速通信ではありません。そのため電話回線を利用したADSL[※]サービスへ加入する方法もありますが、加入可能な世帯は成羽地域の69・2％と、全世帯の加入はできません。
また、川上・備中地域は、ケーブルインターネットがなく高速通信サービスは提供されていません。ADSLサービスへの加入可能な世帯も川上地域が36・0％、備中地域が23・9％と低い状態です。
このように、地域によって高速インターネットが利用できる環境が異なった状況となっています。

表② 高速インターネットの加入可能世帯数(推計)

(H19. 3. 31 企画課情報係調べ)

	高梁地域	有漢地域	成羽地域	川上地域	備中地域
全世帯数 ①	8,470 世帯	918 世帯	2,089 世帯	1,329 世帯	1,099 世帯
整備(加入可能)世帯数 ②	8,470 世帯	918 世帯	1,446 世帯	478 世帯	263 世帯
整備(加入可能)率 ① / ②	100%	100%	69.2%	36.0%	23.9%
該当する通信方法の種類	ケーブルテレビ ADSL ※FTTH	ケーブルテレビ	ADSL	ADSL	ADSL
市全体の整備(加入可能)率	11, 575 世帯[②の計] / 13, 905 世帯[①の計] = 83. 2%				

※FTTH (Fiber To The home)

光ファイバーを一般個人宅へ直接引き込むネットワーク方式で、超高速の情報通信が可能